



令和7年10月23日
本部事務局連携推進課

関西健康・医療創生会議シンポジウム 「希少疾患薬 創生拠点の構築」～世界の患者に届けるために～

1 趣旨

希少疾患に対する取組は医療の一分野にとどまらず、国の安全保障、産業競争力、社会的包摂に関するテーマです。

そこで、熱意ある医療関係者、資金調達に課題を抱える起業家、効能が見込めても薬価上の制約で動きにくい製薬企業—それぞれの現実を俯瞰し、患者の方々からの要望を推進力として、資金・許認可制度・薬価・連携を再考する道筋について、日本がアジア・世界の一員としてどのように貢献すべきかを見据え、医薬品産業の拠点である関西から問題提起をするため、シンポジウムを開催します。

2 開催内容

- (1) 日時：令和7年11月18日（火） 13:00～16:00
(2) 場所：ライフサイエンスハブウエスト 定員 100 名
（大阪市中央区備後町 4-1-3 御堂筋三井ビルディング 4 階）
Zoom ウェビナー 定員 300 名

- (3) 参加申込：以下の URL 又は QR コードよりご登録ください（11 月 17 日締切）
<https://sympo-20251118.studiolakka.com/> （参加無料）

- (4) 主催：関西健康・医療創生会議、NPO 法人関西健康・医療学術連絡会、
バイオコミュニティ関西（BiocK）

共催：関西広域連合、関西医薬品協会、CBI 研究機構次世代モダリティ研究所、LINK-J
後援（予定）：内閣府、経済産業省、厚生労働省、AMED、PMDA、日本製薬工業協会

- (5) プログラム（敬称略）

○総司会 坂田恒昭 バイオコミュニティ関西副委員長（大阪大学特任教授）

○基調講演

- (1) 栄木憲和 エイキコンサルティング合同会社 President

「日本から世界へ—新薬で患者に希望を届ける ～革新的治療の創出と持続可能な
医薬の実現を目指して～」

- (2) 下田裕和 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）調整役

「我が国における創薬分野のチャレンジ」

○一般講演

- (1) 小林義直 ノーベルファーマ（株）事業開発・導入推進本部導入推進部長

「希少疾患薬 開発推進上の課題」

- (2) 和田道彦 ニュートンバイオキャピタル パートナーズ 開発薬事責任者

「希少疾患薬開発の経験をどう創薬エコに応用できるか」

- (3) ブルーメンタル由夏利 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）主幹

「Be the change, you want to see! ～自分が望む変化に、自分自身になる～」

- (4) 水島洋 東京都健康長寿医療センター 健康長寿イノベーションセンター長補佐

「難病希少疾患対策のあり方」

○パネルディスカッション

○総括 橋本信夫 関西健康・医療創生会議副議長

- (6) 問合せ先：NPO 法人関西健康・医療学術連絡会（関西健康・医療創生会議事務局）

gaku-renrakukai@nifty.com

